

1. 件名：低レベル放射性廃棄物搬出検査装置の放射能評価プログラムの不具合に係る面談

2. 日時：令和5年2月7日（火）10時30分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 2階大会議室

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門

二宮上席監視指導官、木原主任監視指導官、百瀬主任監視指導官、堀江監視指導官、河合管理官補佐

日本原燃株式会社 埋設事業部 部付課長

東京支社 技術部 運転管理グループリーダー

日本原子力発電株式会社 原子力部 発電管理室 環境保安グループ グループマネージャー 他1名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力部 廃止措置グループ グループリーダー

中国電力株式会社 電源事業本部（原子力管理） 担当部長

電源事業本部（放射線安全） 副長

北陸電力株式会社 原子力本部 原子力部 原子燃料技術チーム 副課長

#### 5. 要旨

（1）日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、低レベル放射性廃棄物搬出検査装置の均質・均一固化体用放射能評価プログラムの不具合について、資料に基づき説明があった。

（2）原子力規制庁から、日本原燃に対して以下のとおりコメントした。

- ・当該事象に関し、不具合の発見に係る経緯、原因の特定、影響の評価等について具体的に説明すること。
- ・放射能量及び放射能濃度の再評価の手法の技術的な正当性と適切性を説明すること。
- ・当該プログラムの誤りが2か所のみであること、充填固化体に係る評価に影響を及ぼしていないことについて詳細に検証すること。また、同類の事象も含め、他に不具合がないことを確認すること。

（3）日本原燃より、本日の面談を踏まえて各電力会社と連携して対応する旨発言があった。

#### 6. その他

提出資料

「低レベル放射性廃棄物搬出検査装置の均質・均一固化体用放射能評価プログラムの不具合に伴う埋設済み廃棄体の放射能データへの影響および今後の対応について」